

環境部会

環境部会長 菅田 忠志(生環 11期)

子どもたちへ贈る夏休みイベント 3題をサポート

環境自然塾 『押し葉標本づくり教室』

8月9日(日)、本部主催、(財)長寿社会開発センター後援の『押し葉標本づくり教室』が開催された。

当日はあいにくの小雨混じりの天候となったものの、予定の参加者は一部の方を除きつぎと参集。植物採集及び押し葉標本づくりの基礎的な話を聞いてから、しあわせの村内の身近な植物の採集に向かう。時期的には、植物の種類も若干少ない時であったが、参加された親子の手によって、午前中に集められたいろいろな草花を、午後から「押し葉づくり」に挑戦。

押し葉標本は、できあがるまでには多くの工程と日数を要するため、1日限りのイベントでは、出来る項目も限られる。そのため、持ち帰り後の作業をしっかり覚えて帰ってもらうこととした。

“ビオトープグループ”と“里山クラブ” がサポート



参加された親子には、経験豊かなスタッフに準備してもらった見本と、未完成ではあるが自分達で作った作品をおみやげに、それぞれ達成感を笑顔で表しながら引き上げていった。このようなイベントを通じて、身近な自然への関心が育ち、自然を大切にすることが育つことを期待しよう。

子どもたちみんなで盛り上げた

『しあわせの村夏休み工作塾』

夏休みもあと数日となった8月29日(土) しあわせの村主催の「しあわせの村夏休み工作塾」が開催された。6つのテーマが準備され、その内「ケナフ染め」と「昆虫採集と標本づくり」のコーナーを環境部会の「ケナフの会」「ビオトープの会」「里山クラブ」のメンバーがサポートにあたった。

昆虫採集と標本づくり

ケナフ染め

“ケナフの会” “ビオトープグループ”

“里山クラブ”もサポートに参加



夏休み最後の休日とあって、大勢のちびっ子たちが親子で参加して来られ、ケナフの木の皮を使って布に染める作業や、教材として採集した昆虫を、講師の先生の指導でケースに収納していくなど、楽しいひとときを過ごしたイベントとなった。

こうべ環境未来館 第7回、第8回 エコスクールサポート

第7回：夏休み宿題お助け隊

8月23日(日)、今年も多くの子どもたちが訪れてくれた。木の実工作やマイバック作りに挑戦する子、昔あそびや草木染めに興ずる子、ペットボトルや牛乳パックを活用してのリサイクル学習など、文化部会のみなさんと一緒に、里山クラブ、ビオトープの会、銀の匙がサポートにあたった。

第8回：バードウォッチングと野草クッキング

9月12日(土) こうべ環境未来館周辺で実施されたバードウォッチングと野草クッキング。季節的にやゝ不利なこともあって、野鳥の観賞や野草の採集にはちょっと種類が少なく、手持ち無沙汰となったが、未来館スタッフと一緒に野鳥と自然の観察会、ビオトープの会、銀の匙の皆さんにサポート願ひ初秋の里山を味わってもらった。



調理に腕ふるってもらった“銀の匙”スタッフのみなさん